

## 授業料不徴収協定に基づく派遣交換留学終了報告書

留学プログラム名	派遣交換留学		
所属(本学)	生命理工学院 生命理工学系生命理工学コース		
現在の学年	修士1年		
留学先国	デンマーク	留学先大学	デンマーク工科大学
留学期間	2016年8月19日～2017年2月6日		

### ① 留学先大学(機関)の概略

デンマーク工科大学  
東京工業大学派遣交換留学提携大学

### ② 留学前の準備

就職活動: 就職活動は年が明けてから渡航先で開始しました。直接面接に行くことはできないので、業界分析、エントリーシートそしてスカイプで面接が可能である会社を探して、行っていました。

修士論文: 修士論文に値する研究については可能な限り渡航前に行い、帰国後再開致しました。

留学情報: 留学先大学のHP、及び同時期に留学する友人と情報交換をしました。

専門分野: 東京工業大学在学中と同じであり、特に準備を行う必要はありませんでした。

語学: オンライン英会話や本学で催されているHUB-ICSのイベントに参加していました。

### ③ 留学中の勉学・研究

私の場合、研究室には所属せず授業を履修しました。留学中5単位の講義を2つ、10単位の講義を1つ計20単位を申請しました。

受講後、筆記テスト、ポスター発表もしくは口頭試問によって授業の理解度が評価されました。デンマーク工科大学で受けた授業は学生が知識を得るだけでなく、その知識を用い演習を行うことで理解が深められるようよく考えられ構成されていました。また、講義の後半ではプロジェクトワークが行われた授業もあり、非常に内容が充実していました。授業として設けられている時間以外にもグループワークを行う必要があり、週に2日はグループワークを行っていました。成績結果についてそれぞれ感想をまとめると、

・Eukaryotic Cell Biology and Disease

筆記テストは教科書持ち込み可能であり、四時間行われたが、非常に難しく基礎知識を全て活用したうえで考えさせられる問いが多かったです。受講者の内30%の学生は単位を落としており、他の学生にとっても難しかったのだと思います。

・Metagenomics and Microbiome Analysis

全13週の授業のうち、前半6回が講義及び演習、後半7回がプロジェクトワークでした。プロジェクトワークでは、普段研究室で行っている研究と同じ水準で進めることができ、十分に理解を深めることができました。

・Algorithms in bioinformatics

3週間の集中講義のうち、Metagenomics同様前半が講義及び演習、後半がプロジェクトワークでした。留学前に研究で使用していたアルゴリズムを再度学ぶことができ、生物情報学で用いられているアルゴリズムについて理解を深めることができたのと同時に、短期間でプロジェクトを完遂する集中力をつけることができました。

### ④ 留学中に行った勉学・研究以外の活動

現地で友達になった他国の留学生と一緒に、デンマーク内の観光をしました。また土日休みと秋休み、冬休みを利用して、デンマークを含め10カ国を訪れました。中でもアイスランドは

一番の思い出です。広大な大自然の中、レンタカーを借りてドライブしました。最も怖かったのはパリです。明らかに観光客を狙ったひったくりもいたので、常に警戒して歩くことになり精神的に非常に疲れました。ただパリ滞在中に訪れたルーブル美術館やエッフェル塔は圧巻でした。

留学が始まってからすぐ、身体を動かそうと思いジムに通い始めました。大学内にジムの施設があるのですが、二ヶ月単位で契約し、一日中使用できるので大いに活用しました。

デンマークは治安が良いですが、自転車大国なので自転車の盗難は非常に多いです。私自身も一度他国へ旅行中に危うく盗まれそうになったことがありました。最寄りの駅に自転車を停めていたのですが、旅行から帰ると鍵がほとんどひきちぎられており、ライトが盗まれていました。デンマークに行く方は、くれぐれも自転車が盗まれないようにお気をつけください。

#### ⑤ 留学を終えて、自分自身の成長を実感したエピソード

留学中に様々な考え方を持つ人達と触れ合えたことで刺激を受けたことはもちろんですが、自分と向き合う時間もたくさんとることができました。将来これからどんな人生を送りたいのか、どんな職業につきたいのか、留学前からすでに決まっている人も、もう一度考え直すことができる機会だと思います。また、留学先では能動的に活動することを心がけていたので、その上で自己管理能力が伸びたと思います。

#### ⑥ 留学費用

学生支援機構の貸与型奨学金 5 万円と公益財団法人業務スーパージャパンドリーム財団から給付型奨学金 15 万円、合計月 20 万円を留学費用として使用しました。

渡航費・生活費・住居費・保険料その他も全て、支給された奨学金を上手く配分できたので自費負担はほとんどありません。

#### ⑦ 留学先での住居

大学が約 10 種類の寮を管理しており、事前に大学から指定されたフォームで申請する必要があります。私が利用した寮は Campus Village という寮で、大学内に位置しており非常に便利でした。ルームメイトは 8 人おり一区画につきそれぞれの部屋及び共用のバス・トイレ・キッチンがありました。個人の部屋に冷房はついていませんでしたが、寮内の気温は過ごしやすい温度に保たれていたため問題なく生活できました。

#### ⑧ 留学先での語学状況

デンマークの第一言語はデンマーク語ですが、全人口の 75%は英語を話せます。特に、学生はみな英語を義務教育で学んでおり、授業・日常会話でも英語が問題なく話せます。留学前の TOEFL-iBT は 62 TOEFL-iTP は 553 点だったので、留学当初は特に話すことに苦労しましたが授業に関して困ることはありませんでした。

#### ⑨ 単位認定(互換)、在学期間

単位互換は行う予定ですが、講義内容が類似していない限り単位として認めることは難しく、かつ最低 3 人以上の承認を得なければならないので非常に難しいようです。

在学期間の延長を行う予定はありません。

#### ⑩ 就職活動

留学先では帰国後のインターン先を探していました。帰国が 2 月なので、3 月まではインターンや企業の情報を集め、3 月以降就職活動を始めたいと考えています。

⑪ 留学先で困ったこと(もしあれば)

デンマークは税率が 25%と非常に高く、渡航前に嗜好品(特に電子機器等)はきちんと揃えていくべきだと思います。私自身、有線ケーブルやパソコン周りの付属品を買う必要が生じてしまいデンマーク内で買い揃えたのですが、痛い出費となりました。

⑫ 留学を希望する後輩へアドバイス

留学手続きが大変なので、相談できる同期や先輩を見つけるといいと思います。また、ラーメンが恋しくなるので、インスタントラーメンを持っていくといいでしょう。それと、本を読むのが好きな方はタブレットを1つ持っていくことをおすすめします。私は amazon fire タブレットを直前に買い利用していました。